最終更新日: 令和 4年 8月26日 1頁

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

#### 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち 政

担当部長職・氏名

経済産業部長 木下 昇三

## 1. 政策の実現状況を明らかにする

## (1) 計画のビジョン(政策が実現できたときの状態)

目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野 と労働力が、また滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展 するとともに、市民や地域が潤っている状況です。

(2) 政策目標値の達成状況

	/ -	X X L			770 171	,,,,								
No		政	策	н	標	指	<del>1</del> ==	基準値		戦略目標見過	目標値	進捗状況		
NO		収	來				標	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
	暮	自分の	)仕事	に満	足して	ている	う人の割合							
1	16	単	单 位 %					55. 1	57	58	60	61	61	-
	し	<u></u>	<u>u</u> 70	)				55. 1	53. 4	52. 3	54. 5	ı	_	0.0
		身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合												
2	幸福	単	<u>.</u> 0/	,				36. 3	40	43	47	50	50	ı
	佃	#  	<u>绝</u>					30. 3	36. 6	36. 3	34. 7	ı	1	0.0
		** /												
		単 1	<u>立</u>											

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No		基本施策名	基準値	上:	戦略目標見過	目標値	進捗状況									
NO		基本施策目標指標	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)							
		03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信														
1	暮ら	滝沢市の地場産品をよく買ってい	る人の割合													
1	1	単 位 %	41.9	43. 9	46	48	50	50	_							
		<u>+ 13 </u> 70	11. 3	48. 7	48. 9	0	_	_	0.0							
		03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信														
2	幸福	<b>滝沢市に愛着がある人の割合</b>														
2	福	単位%	74.6	76	77	78	80	80	_							
		<u>+ 12 /0</u>	11.0	69. 1	68. 1	0	_	_	0.0							
		03020000 ICT関連企業集積と	産学官連携の推	進												
3	暮ら	法人事業所数														
	l	<b>単位</b> 所以上	956	956	956	956	956	956	_							
				967	989	0	_	_	0.0							
		03020000 I C T 関連企業集積と産学官連携の推進														
4	幸福	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合														
1	福	単 位 %	36. 3	39	43	46	50	50								
				36. 6	36. 3	0	_	_	0.0							
		03030000 農林業の振興と担い手の支援														
5	暮ら	農業後継者(販売農家)の有無の	割合(令和4年度													
	l	単位 %以上	58.6	58. 6	58. 6	58. 6	58. 6	58. 6								
		<u> </u>		58.6	37. 6	0	_	_	0.0							
		03030000 農林業の振興と担い手														
6	幸 福	身に着けた知識や技術を仕事や趣	味の場で生かせ													
	福	単 位 %	36. 3	39	43	46	50	50								
		<del></del>		36. 6	36. 3	0	_	_	0.0							

## 最終更新日:令和 4年 8月26日

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

## 政 策: 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名

経済産業部長 木下 昇三

## 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

#### (1) 政策目標の進捗状況分析

盛岡西リサーチパークやイノベーションセンター、イノベーションパークには、今後本市産業の核となると思われる企業が 集積しつつあり、イノベーションパークにおける残りの分譲地についても積極的に企業誘致を推進してます。

また、第1次産業においても、六次産業や特産物のブランド化、販売促進など、毎年あらたな取り組みが活発に行われています。

労働人口については依然都市一極集中等による人手不足は継続していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク、オンライン会議など新しい生活様式により仕事のあり方について多様化している状況にあります。

#### (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

世界規模では、TPP11、日欧EPA、RCEPなど関税引き下げ協定、低価格化競争など第1次産業は先行きが見通せない状況にあります。また、新型コロナウイルスの影響により輸出入の低迷やインバウンドなどの交流人口の減少など国内外の経済に与える影響は多大なものがあります。

一方で、IT関連や一部製造業は成長が続いており、本市中小企業にも直接関係しています。

#### 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

#### (1) 政策の達成(実現)に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・関係団体やビッグルーフ滝沢と連携しながら情報共有、イベント開催による各種情報の発信をします。観光物産については、既存の自然や文化、ブランドをいかしつつ、新たな地域資源のほりおこしや情報発信、観光地としての受け入れ態勢(おもてなしの心など)の整備等に努めます。
- ・IT企業の誘致を進めるとともに、岩手県立大学やイノベーションパーク・イノベーションセンターを拠点とした 産学 官連携を推進し、市内商工業者の生産性向上に向けた支援などに取り組みます。また、新たな産業拠点についての検討を 行います。
- ・農地集積の推進、酪農・畜産の振興により、次代の担い手の育成・確保に努め、また日本型直接支払制度や森林整備を推進し、農地や森林が有する多面的機能の持続的な発揮を目指します。

産直施設のネットワーク化や食育と連携した食の安全・安心を基本とする地産地消を推進し、第6次産業等と複合的な持続可能な農林業を育成します。

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題

- ・「新たな生活様式」の対応を行いつつ地域の魅力の情報発信に取組みます。また、新たな観光政策のありかたについての検討を始めます。
- ・企業誘致を推進するとともに、イノベーションパークの用地拡大について岩手県、県立大学と事前協議を進めてまいります。「滝沢市産業振興条例」の市民の皆様への浸透及び展開を行います。
- ・「人・農地プラン」の実質化による地域の担い手への農地集積や日本型直接支払の推進と新規就農者の支援及び産直や食育と連携した地産地消を推進し、持続可能な農業経営体の育成を図ります。また、森林環境譲与税による森林活性化に取り組みます。

### (3) 基本計画内方針及び令和 4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・「地域資源を活用した戦略的な産業振興」については、新しい総合計画策定に合わせて観光振興に係る新たな計画を策定し、関係機関と連携し多様化するニーズに対応しながら観光振興、物産振興の展開を図ります。
- ・「ICT企業集積と産学官連携の推進」については、継続的な企業誘致の推進、誘致企業と地元企業のマッチングによる 生産性向上の推進、AIやICTの活用による地域課題解決など市民と企業の交流機会の創出支援を図ります。
- ・「農林業の振興と担い手の支援」については、農地中間管理事業による農地集積の推進、日本型直接支払の実施、酪農・ 畜産振興を支援する相の沢牧野の運営管理、また森林環境譲与税を活用し所有者の意向調査や森林整備の長期計画の作成 を実施します。農業青年や新規就農者、認定農業者に対し、関係機関と連携して支援や指導を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式の対応と経済活動の両立を推進しするため、関係機関と連携し支援して まいります。

## 最終更新日:令和 4年 8月26日

# 後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名

経済産業部長 木下 昇三

(4	)所	管基:	本旅	<b>玉</b> 策別	事業	費計画表										
							基	本	施	策	別	事業	費	計	画 額	
No	基	本	施	策	名	令和 4年度	前	<u>年</u> 度	比	較 (%)	<b>수</b>	和 5年度	令和 6	年度	令和 7年度	4ヵ年計
,	0301	0000	地	域の潤	いに	つながる観光資							<u> </u>			
1						139, 414		130,608		6. 7		147, 045	14	7, 045	147, 045	580, 549
2	0302	0000	Ι	CT関	連企	業集積と産学官	連携の	推進					•			
_				LL MA =	I res	264, 502		186, 966		41.5		155, 626	14	7, 211	140, 934	708, 273
3	0303	0000	農	林業の	振興	と担い手の支援 360,614		192, 951		86. 9	Г	249, 801	22	3, 131	223, 082	1, 056, 628
						300, 014		192, 931		00. 9	<u> </u>	249, 001	22	3, 131	223, 062	1, 050, 028
													•			
									1		_		1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
									ı		_		1			
											<u> </u>					
											Ι					
											1		1			
									<u> </u>							
	<u> </u>								<u> </u>							
											Ι					
						<u> </u>					<u> </u>		<u> </u>			
											Π				<u> </u>	
						l			<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>			
								_								
											1					
											l				<u> </u>	
						<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>			
	L															
	•					•			-		•				1	

### 最終更新日:令和 4年 8月26日

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針書

## 政 策: 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職·氏名

経済産業部長 木下 昇三

### 4. 政策の実現に向けての人事マネジメントを考える

## (1) 基本計画内方針及び令和 4年度重点課題に基づく人員体制の考え方

- ・いずれの課でも事業やイベントの数が多く、またふるさと納税寄付金の向上推進を図るため部内における横断的な情報の 共有と連携展開が必要です。また各課事務については、総括主査、担当、副担当を基本単位とし、現場優先の事務執行に取 り組みます。
- ・常に、目的を市民と総合計画に置き、事務のいっそうの効率化、最適化等に取り組みます。
- ・年長職員の経験知識を次の世代に伝達するなど、職員育成に努めます。

### (2) 基本施策別における人員体制に関する課題

<u> </u>		水がに357 の八貝 仲間に因う の味趣
No	基本施	
		基本施策の人員配置における課題
	03010000	地域の潤いにつながる観光資源の発信
	00010000	観光協会や農業団体との目的分担、共同による観光物産政策の展開や効率化が必要ですが、人員不足等があり、十
1		
-		分とは言えない状況です。
	02020000	ICT関連企業集積と産学官連携の推進
	03020000	
2		企業誘致と既存企業の育成・連携を合わせて施策を展開する必用がありますが、誘致の経緯や今後の展開に関する
-		ビジョンや知識を持った職員の育成が必要と考えます。
	0202000	農林業の振興と担い手の支援
	03030000	
3		事務事業が多く、また、短期間での制度改変も多いため、一定の範囲の事務を統括する総括主査及び主任主査が、
3		各担当を班・チームとして取りまとめる体制の強化が必要です。また、現場と事務事業を並行して推進するために
		は、経験値を高めるとともに増員が必要と考えます。
<b>—</b>		TO MANIE IN THE CONTRACT THE TOTAL TO THE TOTAL THE CONTRACT THE CONTR
<b>—</b>		
<u> </u>		
<b>—</b>		
$\vdash$		
<u> </u>		